

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 12月16日

【評価実施概要】

事業所番号	4270105473
法人名	医療法人 昭和会
事業所名	グループホーム 新地
所在地	〒850-0842 長崎県長崎市新地町番6番3号 (電話) 095-823-3564

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217 島原商工会議所1F		
訪問調査日	平成20年12月10日	評価確定日	平成20年12月22日

【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 9 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 6.9 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4 階建ての	2 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,800 円	その他の経費(月額)	光熱水費600円/日・リネン代100円/日・実費	
敷金	有(円)		(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	430 円
	夕食	600 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	71 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	昭和会病院・恵美須町病院・光安歯科医院
---------	---------------------


【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長崎市の中心部にある中華街近くに立地しており、既存の建物を改築して使用されている。グループホームは、2階と3階部分にあり、コンクリートの冷たい印象を払拭するように廊下には、植物を飾られたり行事の写真が貼られてあったり、隣の建物の壁で閉塞感が感じられる窓を和紙で覆うなど、いたるところに暖かさが感じられるように工夫されている。母体が病院ということもあり、職員の研修などは充実しており他のサービス事業所も展開されていることから、急な利用の相談にも応じられ、その他の該当事業所の情報も提供されている。開設して3年目であるが、管理者をはじめ、「支えてつもりが、癒されている事がある」という職員の言葉が印象的であり、このホームの暖かさが伝わってくる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の改善課題については、報告書を作成され、一つ一つ整理され、すぐに取り組める部分は改善が行われている。介護計画についても様式を試行錯誤されながら、使いやすい個人記録に変更された。玄関先へのアプローチも花を飾り工夫している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価への取り組みは職員で話し合いながら出た意見を管理者がまとめられた。自己評価に取り組んだことによって、日々のケアの見直しにもつながったと話された。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	2か月に1回開催されている。議題は、レジュメがありそれに沿って報告や相談をされている。構成メンバーからは貴重な意見が寄せられており、議事録も作成されているが、意見の内容や発言などを、より詳細に記載することによって今後のホームの運営にも反映されるような記録の方法の検討を期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	家族会を立ち上げられ、ご家族、職員、入居者が参加し茶話会を開催されている。エレベーター付近にご意見箱を設置されているが、面会が多いということもあり、意見書の投稿よりも、ご家族から直接意見をいただくことが多い。利用料の支払方法について意見をいただき、早速改善されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会の班長をされており、今年で2年目になる。地域包括支援センターの方に来てもらい、ホーム内で権利擁護などについての勉強会を開催し、家族や近隣住民の方の参加もあった。立地場所が市街地にあることから、おくんちやランタン祭りなど長崎ならではの行事へ積極的に参加されている。

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の方との関わりの中で、お年寄りやご家族が安心して生活できるグループホームを目指します」と掲げている。人との関わり合いの中で手をつないでやっていくという精神を大切にされている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	現在は、理念を会議の際に振り返られたり、事業所内に掲示されている。また、理念を記載したカードを作成され職員それぞれが身に付けられており、いつでも見ることができるように工夫されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の班長をされており、今年で2年目になる。地域包括支援センターの方に来てもらい、ホーム内で権利擁護などについての勉強会を開催し、家族や近隣住民の方の参加もあった。立地場所が市街地にあることから、おくんちやランタン祭りなど長崎ならではの行事へ積極的に参加されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の改善課題については、「外部評価報告書」を作成され、改善へ向け取り組みがなされている。自己評価については、職員と管理者で話し合い、管理者がまとめられた。自己評価に取り組むことによって、日々のケアの見直しに繋がったと話された。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回開催されており、議題内容のレジュメを作成されており、それを元に報告、相談などをされている。構成メンバーからも貴重な意見をいただいていると話されたが、議事録には残されていない。		議事録には意見の内容や発言者などを、より詳細に記録することによって今後のホームの運営に反映されるように記録の方法の検討を期待したい。

グループホーム 新地

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政との連携は運営推進会議の際に地域包括支援センターの職員との交流がある。不明な点などは、電話連絡で市町村担当者に問い合わせている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族の面会が多く、毎日来訪される方もいる。少なくとも月に1回ほどのご家族も面会にみられる。入居者の状態の変化の際は、些細なことでも電話連絡を入れ、面会に見えた際も話をされている。家族会を立ち上げ、入居者、職員、ご家族が参加した茶話会を開催された。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが、面会が多いということもあり、意見書の投稿よりも、ご家族から直接意見をいただくことが多い。利用料の支払方法について意見をいただき、早速改善されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職や法人内異動があったが、入居者は特に違和感もなく馴染まれている。ケアの統一を図られていることから、職員が変わっても支障がないよう配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修、外部研修、法人内研修などあり、研修案内などは全員へ紹介され希望者を募られている。研修後は報告書の提出と月1回の会議の際に報告され、不参加への職員への周知を図られている。また、新人職員には半年～1年の間当番制で「教育係り」が設けられ、新人を指導する現任の職員も日々のケアの見直しにつながり相互に成長できるように取り組まれている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	長崎市のグループホーム連絡協議会に参加されている。ブロック分けされており、12事業所が集まっている。交流があるグループホームには見学など行き来されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>立地や交通の便の良さからご家族が選ばれ、何度か見学に来られた後に入居が決まるケースが多い。入居が決まった後は、管理者と看護師が自宅を訪問され、顔なじみになるように配慮している。入居後も慣れるまではご家族が宿泊され、徐々にホームの雰囲気に馴染めるようにされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家族の一員として「自分の親と思ってケアをする」を心がけられている。職員は「支えてるつもりが支えてくださっている」と笑顔で話された。入居者から学ぶことも多く、笑顔で過ごされていることに励まされたり、癒しをいただくことがある。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントを重要視されており、独自のアセスメントシートやセンター方式のアセスメントシートを使いやすい部分を使用されている。その方を支えるための情報の共有に申し送りノートを活用しており、気づきや業務上の連絡事項などが記載されており閲覧した職員は署名するようになっている。</p>		<p>入居時のアセスメントにとどまらず、段階に応じて日々のケアの中での気づき等を記録し、その方の個々の思いの把握に努められ、職員間での情報の共有方法の検討を期待したい。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は原本を計画作成担当者が作成したものを、担当職員へ検討してもらい、その後入居者やご家族、担当職員などでケア会議を開き、作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月モニタリングを行っており、ケアプランの変更の必要方はその都度変更されている。特に変更が必要のない入居者の場合も半年に1度はケアプランの見直しを行っている。個人記録は1枚でわかるような書式へ変更されている。</p>		

グループホーム 新地

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	介護保険関連の事業所が複数あり、その中でも通所介護の利用者と入居者間での交流が多く持たれ、お互いの行事への参加も行われている。職員もお互いの研修に参加し、他分野の情報を得て研鑽し日々の支援に活かしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科の主治医は母体病院の医師がされているが、かかりつけ医がある方はそちらの病院の受診をされている。眼科や歯科の医師も往診へ来られている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとしての看取りや終末期ケアの方針を持たれている。段階に応じてご家族の希望や本人の希望などの相談に応じながら方向を決められている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いには十分に配慮されており、ご家族より同意を得られている。個人ファイルの保管場所も決めてある。入居者への声かけなどにも配慮されており、その方にだけわかるようにそっと声を掛けられ、さりげなく支援されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	アセスメントの情報を基にケアをされている。針仕事が好きだとかご家族から聞いていても本人はそうでもなかったりと、ご家族の話と本人の話に開きがあると感じられている場面もあるが、本人が望む場所で、望むことを大切にされ支援されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おやつを入居者と一緒に作られ職員も同じテーブルにつきお茶の時間を楽しんでいる。食事の準備は盛り付けなど出来る入居者の方には能力に応じて手伝い等支援されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日を決めているが、希望に沿って入れるようにされている。湯船に入ることを楽しみにされており、個別対応されており、職員との会話が生まれやすい場面でもある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	計算ドリルをされたり、雑誌を読まれたり、折り紙に没頭されたりと、それぞれが好みの楽しみをもたれているために、個々人に合わせて支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物などへ行かれる。散歩は水辺の森公園へ行ったり、天候や体調を考慮しながら支援されている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	エレベーターは自由に行き来できる。夜間は玄関は施錠されているが、その他は、開放されている。本人の希望で居室へ鍵をかけられる方もいるが、本人の安心を重視された対応である。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回は避難訓練を実施されており、内1回は消防署立会いの下、行われた。非常時の持ち出し品や食糧や水の備蓄もされている。職員が緊急時の対応法をまとめたメモを持ち歩き危機管理意識が高く、常に緊張感を持たれている。		

グループホーム 新地

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は業者の管理栄養士が作成され、食材も業者より搬入されている。カロリー計算がされた献立はバランスよく栄養摂取できる。食事摂取量や水分量にも配慮されており、個人記録にチェックされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	既存の建物を改築して使用されており、玄関先や廊下など、冷たい印象になりがちだが、植物を片隅へ配置されたり、風景写真や絵画を飾るなどの工夫をされている。リビングは採光が明るく、窓からは湊公園と中華街が見える。ソファや畳があり、それぞれがくつろげる空間になるように工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の広さはそれぞれ違いがあり、利用料金で分けられている。家族写真、位牌、好きな歌手のカレンダー、お花のアレンジを飾られるなど、それぞれに居心地よく過ごせるように配慮されている。		